



かたかご

富士根北中学校学校だより

令和3年11月

(第7号)



「かたかごの心」に生きる子～よりよい社会を創造できる生徒～

「実り多き」

校長 徳川 典宏

緑色の景色から黄色や茶色の景色が多くなり、「秋本番」、「実りの秋」等と言われる時季になりました。ここで言う「実り」とは、自分の歩んできた足跡、これまで努力してきたことの成果のことです。

さて、10月14日に終えた「かたかご祭 体育の部」、そして、いよいよ「かたかご祭」のフィナーレとなる「文化の部」が間近に迫ってきました。皆さんが成功を目指して個々に目標を立て、努力している成果、仲間と目標を共有し、協力し合って努力している成果、それらが新たな富士根北中文化として発揮され、富士根北中の歴史に刻まれることを期待しています。

では、その「かたかご祭」が終わった後について、皆さんは次の目標のことを考えていますか？1、2年生は部活動の公式戦などでしょうか。3年生は進路選択・決定に向けた準備・取組でしょうか。一人一人の目標は違うかもしれませんが、ぜひ次の目標をしっかりと持ち、その目標に向けて努力して、その努力の過程をさらなる思い出としたり、喜ばしい成果を発揮したりしてほしいと思います。

過去を変えることはできませんが、未来を変える事はできるはずで、自分の努力次第で未来はいくらでも変わるはずで、だからこそ、目標達成が成せるのです。

今日という日が二度と来ないということは誰でも分かっているはずで、分かっているながらも、私たちは二度と来ない大切な日々をなんとなく過ごしてしまっていることが多いのではないのでしょうか。

目的も無く、ただ何となく時間を過ごしているだけの繰り返しでは、あまりにも意味がないのではないのでしょうか。小さなことでも目的をもって、自分のできることに最善を尽くしながら過ごすことができれば、充実した一日となります。そして、その積み重ねが、やがて大きな成果、「実り」となって表れるはずで、それは自分の歩んだ足跡、努力の過程であり、目標の達成につながるのです。

完璧を目指すのは大変ですが、ベストを尽くすことはできるはずで、ベストを尽くせば、必ず「実り多き」となるはずで、自分自身のベストを尽くして、頑張りましょう。

令和3年度「命の授業」

今年も10月5日(火)に、学校評議員の佐野眞壽美様に、1年生を対象としてお話をいただきました。また今年で24回目となる「笑顔文庫」の寄贈もしていただきました。生徒たちも読むのを楽しみにしています。毎年ありがとうございます。



☆学校の様子はホームページでもご覧いただけます。よろしくお願ひします。

HPアドレス http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/jh-school/06fujinekita/index.php?page_id=0

かたかご祭体育の部開催！

「飛躍」のスローガンのもと、今年度の体育祭が10月14日(木)に行われました。コロナ禍のため、午前中のみでの開催となりましたが、生徒会中心に企画・運営し、全校生徒で盛り上がることのできた1日となりました。参観していただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

生徒会長を先頭に堂々の入場行進



息の合った応援



学年対抗長縄



1年：大きな箸を使いこなせるかな



2年：心を一つに乗り越えろ！



3年：Uberレース



1年1組



2年1組



3年1組



全校生徒による北中ソーラン



学力向上プロジェクト進行中

根北中生の学力向上のため、今年度から様々な取組を始めています。

- ①かたかごタイム(全校生徒が放課後に月2回、数学と英語の基礎問題を20分実施して、基礎基本の定着を図る)
- ②宿題エール週間(部活動のない時期やテスト前等に未提出の宿題を学校で行うことで、やるべきことをやる姿勢と基礎基本の定着を図る)
- ③廊下に良いノートの例を掲示して共有したり、自己のノート作りに役立てたりして、学習に生かす。これらの取組を通して、更なる学力向上を目指し、よりよい社会を創造する力を育てていきます。

廊下に掲示してある
良いノートの例

